

一般質問

・第3次御前崎市総合計画基本構想について
・今後の御前崎市内の学校再編について



川口知幸

問

第3次御前崎市総合計画の基本構想のうち防災に係る「自助」「共助」「公助」を実践するために、具体的にどのような構想を持っているか市長に伺う

答

「自助」「共助」「公助」の3つの役割を明確にし、相互に補完し合う仕組みを構築することで災害に強い地域づくりを推進してまいります。

問

第3次総合計画の中で「地域資源を生かした活力ある産業と交流で賑わうまち」とあるが、多くの観光客が訪れる「御前埼灯台」の駐車スペースについて整備をお願いしているが、現実のものとなっていない。灯台周辺の景観の維持と御前崎市内の観光資源の活用を考えると再検討すべき時期が来ていると思うが副市長はどのように考えるか

答

灯台周辺の課題整理及び利用実態の把握を進め、灯台の価値や景観を損なうことなく、観光資源としての魅力をさらに高めていくため、民間活力の導入を

含め、駐車場の整備について検討しているところです。車での来訪者が安心して訪れる事ができる環境づくりに向けて、関係者と連携し、丁寧に検討を進めてまいります。

問

本年9月議会で「今後の御前崎市内の学校のあり方について市民の意見と児童生徒の意見を取り入れながら新しい御前崎市教育振興基本計画に反映したい。」と答弁いただいたが、具体的にどのような実践をし、市民から広く意見を収集し、今後の学校の方針が定まったか教育長に伺う

答

対象地区の未就学児保護者へ、これまで多くのご意見やご不安、ご要望をいただいております。現在はこれらのご意見を整理し、方向性を検討している段階であり、具体的な方針が固まるには至っておりません。今後の学校のあり方については、期限までに慎重にまとめたいつもりでございます。

一般質問

・優良田園住宅制度を活用した土地利用と定住促進について
・最低賃金引き上げに伴う市内中小企業への影響と市の支援策について



石川貴広

問

御前崎市において、「優良田園住宅制度」の導入や活用について、今後調査研究を進める考えがあるか伺う

答

県内市町では人口誘導促進のために活用している事例があり、「御前崎市リノベーションまちづくり計画」を策定する中で活用が可能であると考えますので調査研究を進めてまいります。

問

現在、市が把握している市内の空き家件数を伺う

答

令和7年4月1日時点で、189件を把握しており、その中で空き家バンク登録希望があった9件について市のホームページに情報を掲載しています。

問

空き家問題に対する今後の取り組みの方向性について、考えを伺う

答

不動産の管理は所有者が行うことが大前提ですが、空き家バンクの活用による流通の促進や管理不全時点での所有者への指導及び支援等を行うとともに、所有者不在で周辺に悪影響を与え

問

ている不動産については、関係機関と連携し適切に対応します。

答

近年の最低賃金の引き上げについて、市内中小企業への影響と支援策を伺う

問

価格転嫁の難しさや人手不足との両立に関する課題があると認識しており、支援策として、商工会や関係機関との連携を強化するとともに、国などの支援制度を周知してまいります。

答

商工観光課と商工会の連携強化について伺う

問

地域経済の動向や企業のニーズを把握するため、商工会との定期的な情報交換を一層強化します。特に若手会員と意見交換の場を持つことは大変重要であると認識しております。

答

市内福祉施設への最低賃金上昇に対する市独自の支援策を伺う

情報交換の機会や研修により、やりがいを持てる職場づくりや働きやすい環境づくりを、相互に協力して進めます。